

事業名称	長崎県美術館術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業		
実行委員会	日韓文化交流事業実行委員会		
中核館	長崎県美術館術館		
	住所	〒850-0862 長崎県長崎市出島町 2-1 長崎県美術館術館	
	TEL	095-833-2110	FAX 095-833-2115
	ホームページ	https://www.nagasaki-museum.jp	
構成団体	長崎県、長崎県教育委員会、苓崎市立勝本中学校、RING ART 実行委員会		
事業開始時点の課題分析	<p>●両地域の子どもたちを対象とした活動を継続することの必要性： 本事業では平成 21 年度から継続してきたものであるが、その活動は両地域に住む子どもたちを対象としたワークショップを基本に展開してきた。そして、アンケート等の集計結果に鑑みる限り、定性的にも定量的にも将来両地域の発展を担うであろう子どもたちの国際的視野の育成そして相互の国に対する子どもたちの心象改善について明らかな成果を得たと自負している。ゆえに今後も日韓関係の着実な友好関係を構築する活動として、本事業を継続することは好ましいし、重要な意義を持つものと考えている。</p> <p>●両地域に係る美術史の共同研究を介した相互理解の推進： これまでの実績として、長崎県美術館と釜山市立美術館両館の収蔵品の交換作品展を実施したことはあるが、全体的な比重としては教育普及的側面からのアプローチが強く、美術館の本来の役割の一つである美術史的な調査研究に係る活動は不十分であった。その状況に鑑み、今年度以降は、学芸員レベルで両地域における近代以降の美術史に関する共同研究を実施することにより、従来の活動から更に一步踏み込んだ形で相互理解の推進を図るべき時期が来ていると考える。</p>		
事業目的	<p>●長崎県美術館と韓国の釜山市立美術館における諸活動を介し、両地域間の文化交流を促進し、日韓の相互理解及び友好関係の更なる深化を図ること。</p> <p>●本事業を長崎県の施策（韓国戦略）の一つに位置付けつつ韓国における長崎県、長崎県美術館のプレゼンスを向上させ、両地域間の交流人口の増大に寄与すること。</p> <p>●本事業を通し、国際的視野を備えた人材の育成に寄与すること。</p>		
事業概要	<p>本事業では次の 3 つの事業（※ワークショップ活動内では 2 つの内容）を実施した。</p> <p>1. ワークショップ活動</p> <p>1 (1). 釜山会場ワークショップ（長崎県美術館推薦作家による） 名称 私と似た私（韓国語：나와 닮은 나） 概要 作家が自ら制作したオリジナルの両面色紙を参加者が自由に選びながら自分の人形を制作した。 日時 平成 30 年 11 月 24 日（土）10：30-12：30、14：00-16：00 平成 30 年 11 月 25 日（日）10：30-12：30（計 3 回） 場所 釜山市立美術館こども実技室 対象 釜山広域市内小学生 42 人 講師 野田智裕、篠崎真裕（作家名 marini*monteany）</p> <p>1 (2). 長崎会場ワークショップ（釜山市立美術館職員による） 名称 イ・ジュンソプと夢見る子どもたち</p>		

概要 | 作家の作品画像をプリントしたワークシートを使い、韓国の画家イ・ジュンソプの生涯と彼の作品世界を理解し、彼の銀紙画技法を使って作品制作に挑戦した。

日時 | 平成30年12月8日(土) 10:30-12:00、13:30-15:30
平成30年12月9日(日) 10:30-12:00 (計3回)

場所 | 長崎県美術館アトリエ

対象 | 長崎県下小中学生33人(小学生10人、中学生23人)

講師 | キム・ダナ、イ・ミヨン、ソン・ヒョナ(3名とも釜山市立美術館職員)

2. 遠隔授業

概要 | 子どもたちの国際的視野の育成と日韓の関係改善を目指す活動。長崎県美術館の収蔵品を基に、長崎県下の中学校及び釜山市立美術館の2点を遠隔通信システムによって結び、両地域の子供達がお互いの意見や感想を聞き対話型の作品鑑賞授業を行った。

日時 | 平成30年11月22日(木) 13:45~14:35

場所 | 長崎県壱岐市立勝本中学校図書室、釜山市立美術館講堂

対象 | 長崎側/壱岐市立勝本中学校3年生46名教員5名

釜山側/釜山広域市チェソン中学生2年生41名教員2名

担当 | 連絡調整・釜山側補助/守屋聡(長崎県美術館チーフエデュケーター)

長崎側ファシリテーター/山口百合子(長崎県美術館教育普及サブリーダー)

釜山側ファシリテーター/イ・ミヨン(釜山市立美術館学芸員/教育普及担当)

機材サポート | 三和通信工業長崎

3. 共同研究

本活動は、今後5年間をかけて、日本と韓国の美術史的な見地より、両国の近代以降の文化形成におけるつながりについて検証していくものである。本年度は基礎的資料の収集を中心に行うことで、今後5年間の計画の足掛かりとする。

日時 | 平成30年7月17日~平成31年2月

担当 | 長崎側/森園敦(長崎県美術館事業企画グループリーダー)

松久保修平(長崎県美術館学芸員)、川口佳子(長崎県美術館学芸員)、

野中明(長崎県美術館学芸専門監)

釜山側/鄭鐘孝(釜山市立美術館学芸室長)、李珍哲(釜山市立美術館学芸研究官)

<p>実施項目</p> <p>・</p> <p>実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p><input type="checkbox"/>イ ユニークベニューの促進</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p><input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p><input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p><input type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p><input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p><input type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p><input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>1. ワークショップ活動※参加者の感想は末尾「ワークショップ活動感想自由記述」記載。</p> <p>1 (1). 釜山会場ワークショップ (長崎県美術館推薦作家による)</p> <p>定量的効果 釜山広域市内小学生 42 人が参加した。</p> <p>定性的効果 アンケートの結果、日本に対してとても興味を持った子どもが 58%、少し興味を持った子どもが 33%と、併せて 91%の参加者が日本に対して興味が芽生えたと回答した。特筆すべきは自由記述欄にて「実は日本が韓国を辱めていたので嫌いだったが、もう日本人と日本に興味ができたい仲良くなりたい」「日本人の先生とまた授業をしたいです」といった感想があったことである。更に全体で日本人の作家と作品制作を通して交流できたことに対する喜びを述べている感想を 9 人 (全体の 21%) の子どもが述べていた。これらの結果から、本活動により子どもたちは異文化間のコミュニケーションを楽しみながら、日本に対する心象の好転が確実に行われ、日韓の友好関係構築の点からも大いに改善されたとと言える。</p> <p>1 (2). 長崎会場ワークショップ (釜山市立美術館職員による)</p> <p>定量的効果 長崎県下小中学生 33 人 (小学生 10 人、中学生 23 人) が参加</p> <p>定性的効果 アンケート結果より、韓国への興味を持ったと回答したのは、小学生が 89%、中学生が 100%であった。また小中学生とも自由記述欄にて韓国人講師について好意的に記述している感想が見られた。特に中学生においては「韓国の作家や美術館を知る事ができた」「韓国人講師との触れ合いが出来た」「韓国 (語) への興味」などに関して楽しかったと回答する生徒が多く見られた。以上の点から、本活動を通して参加した 90% 以上の子どもたちが、異文化間のコミュニケーションを楽しみながら、日韓の友好関係構築の点から大いに改善の契機となったと言える。</p> <p>2. 遠隔授業※両学校参加者の感想は末尾「遠隔授業アンケート自由記述欄」にて記載。</p> <p>定量的効果 長崎側/壱岐市立勝本中学校 3 年生 46 名教員 5 名が参加した。</p> <p>釜山側/釜山広域市チェソン中学生 2 年生 41 名教員 2 名が参加した。</p> <p>定性的効果 両中学校において授業自体、相互の国への関心度、美術 (館) への関心度の</p>

視点から、事業の前後にて心象の変化を図るアンケートを実施し、比較した結果を述べる。

● 壱岐市立勝本中学校における韓国への心象の変化

・ 授業前の期待度では、とても期待していると回答した生徒が 64%、少し期待していると回答した生徒が 21%と、全体でいえば約 80%が授業を楽しみにしていた。結果、授業後 96%の生徒が授業にとっても満足したと回答。自由記述欄から、多くの生徒において韓国の生徒とのコミュニケーションに興味を抱き、高い満足度につながったと推測される。

・ 韓国への関心度について、授業前約半数の生徒は関心がなかったが、授業後は全員が韓国への関心を持つに至った。自由記述欄を見ると、作品鑑賞を通して、韓国の生徒との会話が楽しかったことを述べるもの、または意見の相違点を感じつつも、韓国という異文化へ理解をしようという姿勢が見られた。これらの点において、韓国への心象は全体的に好転しつつ、国際的視野の育成が確実に行われたことが窺える。

● 釜山市立チェソン中学校における日本への心象の変化

・ 授業前の期待度では、とても期待していると回答した生徒が 50%、少し期待していると回答した生徒が 29%と、全体で約 80%の生徒が期待感を持って授業に参加していた。授業後の満足度は、60%が満足したと回答、25%が少し満足したと答え、全体として 85%の満足度を得た。このことから、事前の期待度を満足度がやや超えることができた。

・ 日本への関心度については、76%が関心を持っていると回答。授業終了後は、少し関心が芽生えた生徒まで含めると 84%が日本への興味を持つに至った。全体として授業後は、授業前よりやや関心が芽生えた生徒が増えた。

・ 自由記述欄を見ると、長崎の生徒と同じく、日本の生徒と会話ができたとに対する新鮮さや楽しさを感じた生徒が多かったようである。特に「会話を通して友好的に感じられてきた」と記述した生徒がいたことから、本事業において日本に対する心象の改善は確実に行われたといえる。これらの結果から、当初目標として掲げた「子どもたちの国際的視野の育成」と「満足度及び両国への心象改善 80%以上の評価」は両地域において概ね達成できた。

3. 共同研究

● 協議結果 |

当初は長崎県美術館側から共同研究することを念頭に、更に釜山市立美術館側にも共通理解を得たと捉え設定したテーマ案を提示したが、次の理由から共同研究という名称を見直した上で、両館の学芸レベルでの連携を目指す形となった。

○釜山市美内における学芸レベルでの交流に対する担当者と館内での共通認識不足。

○共同研究という枠で、それぞれの館におけるミッション、専門性に基きつつ、両館にとって有用なテーマを設定するのは困難である。結果、個別の作家、事項について共同で研究にあたった場合に達成できる部分は少なく、共同研究の効果が低い。

具体的には、本委員会からのテーマ案については、釜山市美側では既に研究の蓄積があり、展覧会という形式で発表されている。そのため、改めて共同研究を行った場合の有効性が低いとの共通認識に至った。その後、釜山市美側から新たに提示された研究テーマは長崎に関連する写真家も含まれるが、その出身や年代といった視点から、どちらかという博物館系統の資料が中心となる研究であり、そうなる長崎県美術館としては、協力できる部分が限られる。一方、長崎県美術館からの代案としては、釜山市立美術館との交流の利点を活用したものとして、長崎県美術館の重要なミッションのひとつである、韓国とより関係性の深い長崎の伝統工芸でもある三川内焼

について共同研究を行いたいと打診した。釜山市美には工芸を専門とする学芸員が手薄ではあるものの、釜山にある工芸や建築等を専門とする研究施設へ紹介、協力を要請するなどの研究のサポートであれば可能との返答をいただいた。結果、両館がそれぞれに研究テーマを持ち、双方の調査研究活動を必要に応じて互いにサポートし合うという形式をとる方が、両館の研究活動の進展及び学術的交流において、より効果的であるとの結論に至った。そのため、最終的には同一の作家や事柄を調査対象とした狭義での共同研究ではなく、双方それぞれがより効果的と思われる研究テーマに沿いつつ、両館がそれぞれの人脈を生かして周辺施設等に協力を要請したり、言語サポートを行ったりするなど、いわば研究補助の形式で関係していくという方向で話がまとまった。具体的には名称を「相互研究サポート」と変更し、美術史を中心に、お互いの地域の歴史を深く理解することを目標に、それぞれ次のテーマで研究を行う計画である。

○釜山市立美術館のテーマ | 韓国近代に釜山で活躍した長崎県壱岐出身の写真家である土肥徳太郎の研究、及び九州地方や日本の作家に関する研究

○長崎県美術館のテーマ | 三川内焼において朝鮮陶工が果たした役割に関する研究

【事業実績】

1. ワークショップ活動

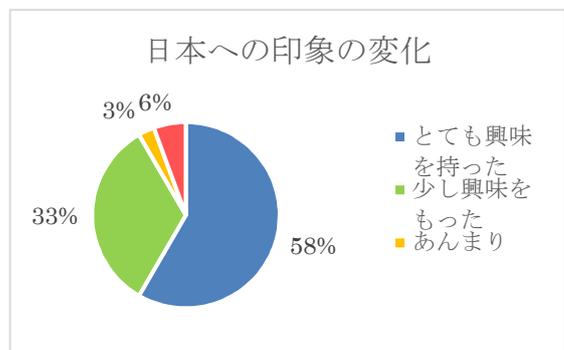
1(1). 釜山会場ワークショップ(長崎県美術館推薦作家による)

名称 | 私と似た私 (韓国語 : 나와 닮은 나)

概要 | 作家が自ら制作したオリジナルの両面色紙を参加者が自由に選びながら自分の人形を制作した。

対象 | 釜山広域市内小学生 42 人

成果物 | 釜山市立美術館季報誌 2,000 部に掲載予定。
平成 30 年度長崎県美術館年報に掲載予定。

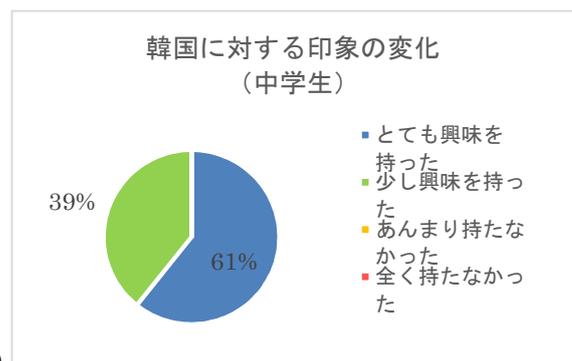


1(2). 長崎会場ワークショップ(釜山市立美術館職員による)

名称 | イ・ジュンソプと夢見る子どもたち

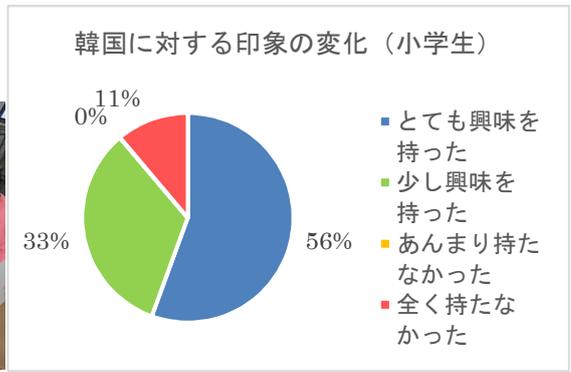
概要 | 作家の作品画像をプリントしたワークシートを使い、韓国の画家イ・ジュンソプの生涯と彼の作品世界を理解し、彼の生み出した銀紙画技法を使って作品制作に挑戦した。

対象 | 長崎県下小中学生 33 人 (小学生 10 人、中学生 23 人)



成果物 | 釜山市立美術館季報誌 2,000 部に掲載予定。

平成 30 年度長崎県美術館年報に掲載予定。



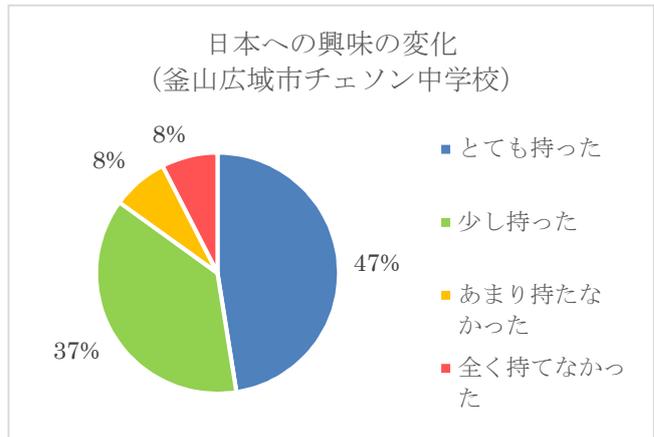
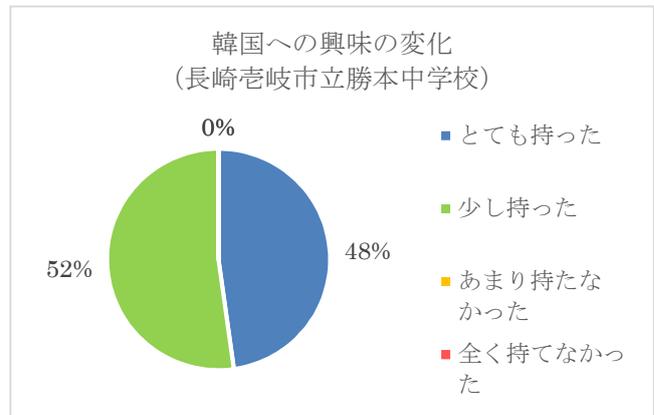
2. 遠隔授業

概要 | 子どもたちの国際的視野の育成と日韓の関係改善を目指す活動。長崎県美術館の収蔵品を基に、長崎県壱岐市立勝本中学校及び釜山市立美術館の2点を遠隔通信システムによって結び、両地域の子も達がお互いの意見や感想を聞き対話型の作品鑑賞授業を行った。

対象 | 長崎側/壱岐市立勝本中学校 3 年生 46 名
教員 5 名

釜山側/釜山広域市チェソン中学生 2 年生
41 名教員 2 名

成果物 | 釜山市立美術館季報誌 2,000 部に掲載予定。
平成 30 年度長崎県美術館年報に掲載予定。



壱岐市立勝本中学校の様子



釜山市立美術館の様子



通信システム画面

3. 共同研究

以下、平成 31 年度以降、長崎県美術館と釜山市立美術館との連携事業の一環として、共同研究という名称を改め、相互研究サポートとして実施していく内容について、それぞれの館のテーマと具体的な調査方法についてまとめたものを記載する。

●長崎県美術館の研究テーマ

文責:川口 佳子(長崎県美術館学芸員)

テーマ | 三川内焼において朝鮮陶工が果たした役割について

○目的

長崎の伝統的工芸品の一つ三川内焼の始祖は、戦国時代に朝鮮半島から連れてこられた二人の人物（巨閑、高麗媼）だとされ、産地では代々、信仰に似た強い関心を集めてきた。本研究では、伝説や推測を含んで語られることの多い彼らについて情報収集、分析し、その重要性をより具体的にすることを目的とする。

○具体的な研究調査方法

1. 文献収集

巨閑、高麗媼に関して新旧の一次文献や、国内外の研究者による二次文献を収集する。（本年度はこうした文献収集にかかる前の情報収集のために、佐世保市教育委員会と佐賀県立九州陶磁文化館の研究者へのヒアリングを行った。）

2. 研究者との対話、研究協力の依頼

肥前地区の朝鮮陶工について現在研究を行う研究者と会い、意見交換や研究協力の依頼を行う。現時点では東京大学の小宮木代良氏、高麗博物館の李素玲氏、佐賀県立名護屋城博物館、九州陶磁文化館などの学芸員、長崎市、佐世保市、有田市、伊万里市などの考古学分野の学芸員、韓国の研究者を想定する。

3. 現地での調査

巨閑、高麗媼が滞留していた三川内をはじめとする肥前地区の窯業地、および彼らの出身地とされる韓国の熊川、戦国時代の資料が残るその他の窯業地において、1～2の過程で出た課題について調査を行う。

4. 研究報告書の発表

1～3をもとに総合的な検証を行い、研究報告書にまとめる。現時点では、2023年度の『長崎県美術館研究紀要』での発表を想定する。

●釜山市立美術館の研究テーマ

文責:李 珍哲(釜山市立美術館学芸研究官)

テーマ | 日本統治時代の<釜山美術展覧会>と釜山・九州地域の美術交流研究

○目的

韓国と日本間の美術交流（近、現代を含む）の関係を調査し、両国の美術史研究の発展を図る。

1922年に始まった「朝鮮美術展覧会」は、官展として日本統治時代、韓国近代美術史に大きな影響を及ぼした。一方、釜山地域でも民展として、1928年から始まった<釜山美術展覧会>（1928～1942、12回開催）があった。しかし、これらの地域主体の展示会が地域の美術界に及ぼした影響は、まだ詳細な研究がなされていない。「釜山美術展覧会」の出品傾向と審査委員を含む資料を集積することにより、当時の釜山美術界の様相を明らかにする。また、当時の対馬と長崎を含む九州地域は、釜山と地理的に隣接している関係で、日本の他の地域よりも多くの人的交流があったものと推測している。一例として、1910年代に釜山への扉を開いた土肥耕美園は、長崎出身の写真家であり版画家である土肥徳太郎が開設したところで、写真館の役割だけでなく、「文化空間」としての役割を担った。絵画、版画、写真など、当時の視覚文化全般に対する資料調査を通じて日本統治時代の釜山の文化的状況を俯瞰したいと考える。

○具体的な研究調査方法

国内データの収集と日本現地滞在研究などを通じた調査を経て、今後の日韓近代美術交流関連セミナーの開催や資料集出版などの方法で研究結果を発表する予定。



2018年7月釜山市立美術館での打合せ会議



2018年12月長崎県美術館での打合せ会議

●釜山会場ワークショップ

設問:ワークショップでどんなところが楽しかったですか?自由に書いてください。(対象:小学生)

- ・顔と胴体と脚、付けるところが楽しかった。
- ・人形作りと日本人の先生から説明を受けた時。
- ・紙人形づくりが楽しかった。
- ・友達と作ったので楽しかった。
- ・作ることが楽しかった。
- ・人形作りの時。
- ・日本人の先生とまた、授業をしたいです。
- ・人形を完成した後、動かしてみる時、楽しかった。
- ・紙人形作りが楽しかった。
- ・紙を切る時がいちばん楽しかった。
- ・作ることが楽しかった。
- ・作ること。
- ・描くこと。
- ・作ることと先生たちが楽しかった。
- ・日本人の先生と授業できて楽しかった。
- ・作ることが楽しかった。
- ・写真も撮って、人形が動いてよかった。
- ・作ることが楽しかった。
- ・紙を切って人の形を作って、繋げるのがとても面白くて楽しかった。
- ・ハサミで紙を切ったり付けたりするのが楽しかった。
- ・作るのが楽しかった。
- ・紙を切る時。
- ・自分に似ている形を作ったこと。
- ・切って、描いて、穴をあけて、繋げたこと。
- ・人形に穴をあけたり繋げたりしたこと。
- ・全部。
- ・自由に作るのが楽しかった。
- ・作る時。
- ・人形を作ったこと。
- ・作ること。
- ・自分と似ている自分という主題で紙人形を作ってみたこと。
- ・はめるのが楽しい。
- ・作ったら先生に褒められたし、作ることも楽しかった。

設問:今日の授業の感想を自由に書いてください。

- ・日本人の先生と一緒に活動できてよかった。
 - ・付けるのがいちばん楽しかった。
 - ・実は日本が韓国を虐めていたので嫌いだったが、もう日本人と日本に興味ができたとし、仲良くなりた
- い。

- ・良かった。
- ・今度また、来たい。前回も楽しかったし、今回も楽しかった。
- ・いろんな模様の紙で人形を作ることが分かった。
- ・ああいう風に人を初めて作った。
- ・今度また、美術授業がしたいです。
- ・日本人の先生の絵が本当にきれいだった。
- ・とても珍しい経験で楽しかった。
- ・日本人の先生たちと初めて授業ができて不思議な感じだった。
- ・褒められたので、気持ち良かった。
- ・こんな授業は初めてだったので、楽しかったし、日本人の先生に会って、楽しかった。
- ・楽しかった。
- ・紙で人形を作ることができたし、前にある絵がとてもきれいだった。
- ・違う国の美術先生にも会ったし、人形を作る過程も楽しかった。
- ・日本から来たおじさんと作って、いい感じだった。
- ・美術館は絵を観るだけだと思っていたが、こんな楽しい体験ができてよかった。
- ・楽しいので、今度また、やりたい
- ・紙人形を作ったが、久しぶりに切ったり作ったりする授業を受けてとても満足した。
- ・他の所では韓国人の先生しかいないのに、日本人の先生だったので特別だった。
- ・これからはここにたくさん来る。
- ・紙で人のように作ることができて楽しかった。
- ・私が作った人形が動いて、不思議な感じだった。先生が親切だった。
- ・気持ちいい。
- ・自由自在に動かせる人形を作って楽しかった。
- ・楽しかった。
- ・人形を作って楽しかった。
- ・僕が作った人形で褒められて気持ちよかったし、楽しかった。
- ・キミノナマエハ
- ・楽しかった。
- ・見方が違うとイメージも変わると思った。
- ・韓国人も日本語をしゃべる。
- ・楽しい。
- ・紙人形が動いて面白かったし、それを僕が直接作ってみたので楽しかった。

●長崎会場ワークショップ

設問: どういったところが楽しかったですか？ (対象:小学生)

- ・絵を描いたところがとても楽しかったです。
- ・絵を描くのが楽しかったです。塗るのもたのし(かったです)
- ・作るのが楽しかったし、塗るのも楽しかったです。
- ・絵を描くところが楽しかった。
- ・作るのが楽しかったです。
- ・絵を描くところがとても楽しかったです。
- ・絵を描くところ。

- ・絵を描くこと。
- ・絵塗り。

設問:今日の活動で思ったことを自由に書いてください。(対象:小学生)

- ・韓国の先生が来て分からないことがいっぱい教えてくれて、今日はとても楽しかったです。
- ・韓国の先生が描いた絵が面白かったです。また、絵の作品を作りたいと思います。
- ・今日ここにきてよかったです。
- ・とても楽しかった。韓国の先生が少し日本語を言えてすごいです。
- ・また来たいです。
- ・絵も描けたし韓国語も分かったのでよかったです。
- ・先生が韓国の先生だけど、上手にいろんなことができてうれしいです。
- ・良いこと描いた。

設問:どういったところが楽しかったですか？(対象:中学生)

- ・自分の好きな風にかきたいことを書いてすごく楽しかったです。絵を自由に描いて塗る。強調したいところを取れて(消して)できました。
- ・韓国の作品の描き方を見習って絵を描いたこと。
- ・自由に絵を表現するところ(自分の感じるままに)
- ・目や鼻、耳などで絵を鑑賞したりしたところ。”
- ・自由に絵を描いたところ。どんな感じがするか感じ取ったところ。
- ・目、耳、鼻、手を使って絵を鑑賞したりしたのが楽しかった！！自分の感じるままに絵をかいた。
- ・目や耳、鼻、手で絵を感じるのが難しかったけど、面白かった。自分でアルミに自由に描けた！！
- ・絵を描いたところ。鑑賞をしたところ。
- ・自分の知らないことを知ることができた。作品を作るのが楽しかった。
- ・韓国の美術館や絵の意味や戦争中の絵に使っていたペンキのことを知れたことが楽しかったです。
- ・韓国の画家さんが描いた絵を鑑賞していろんなことを感じたり実際に自分たちで作品を作ったことがとても楽しかったです。
- ・象徴的な絵が初めてで楽しかったです。絵を見て感じたことを話し合ったことも楽しかったです。
- ・絵を描いたところや、絵の印象を自由に友達と話すところが楽しかったです。
- ・絵を描くところや鑑賞するところが楽しかったです。
- ・韓国の先生の話がとても面白かったです。自分たちで考えて鑑賞するのも、美術の授業のようでした！作品を作ることも、初めての体験だったので良かったです♪
- ・鑑賞をしたり絵を描く作業。
- ・キム先生との会話や昔の絵についてなど、たくさんを知ることができたこと。作品はあまりうまくいかなかったけれど、つくることはとても楽しかったこと。
- ・ダナ先生のお話が楽しかった。今日体験したような絵の描き方は初めてだったので、すごく楽しかった。
- ・作品を楽しく作れたこと。鑑賞を楽しくしたこと。
- ・韓国の事が少しわかったこと。自分の名前の韓国語版がわかった。絵を描いて塗ったこと。
- ・アルミの上などに好きな表現をしながら、絵を描いたりしたこと。いろいろな歴史などを知れたことも楽しかったです。
- ・ワークショップを通して、韓国の先生とも触れ合うことができたし、自分が知らなかった技法などを知ることができたので次回作る際、参考になるなと思いました。

・釜山と長崎の共通点。鑑賞で耳や鼻で読み取るところ。

設問:今日の活動で思ったことを自由に書いてください。(対象:中学生)

・絵を描くときは自分の思ったことを書くということ。鑑賞は、目、耳、鼻、手です。

・ヨーロッパの画家さんは色々見たことがあるけど、韓国の画家さんの話はあまり聞かないので、知ることができて良かったです。

・アルミホイルは、私でも簡単にすることができた。

・韓国と長崎の共通点を知ることができた。”

・今日、初めて韓国の画家さんについてわかったので、これからも、韓国についていろんなことを知っていきたいと思います。

・韓国と長崎の共通点などを知れて楽しかった！！

・アルミの絵は、美術部でも気軽に出来るので、良いと思った。すごく興味が湧いたから、いつか韓国に行ってみたいと思った。

・韓国語は少し難しいなと思いました。今日はとても楽しい体験ができたと思います。

・韓国の先生に教えてもらうという体験が初めてだったのでとても楽しかったです。先生の説明にあった釜山市立美術館に行ってみたいと思いました。

・はじめてした活動だったので、とても楽しかったです。韓国のことにとっても興味を持ったので調べたりしたいと思います。

・韓国の方との交流もしたことなくて、今回のワークショップを通して韓国の先生方にいろんなことを教えてもらって自分の名前を韓国語に直してもらって、韓国語にも興味を持ったし、韓国の作品ももっとたくさん知りたいと思いました。韓国の方と話したのは初めてで、新鮮でした。また、銀紙に描く手法も初めてで、難しかったけれど、楽しかったです。絵を見て思ったことを話し合ったことで、みんながどう思っているか意見を聴けて面白かったです。とても楽しかったし、とても勉強になりました。

・普段あまりする機会がない経験で、勉強になったし、とても楽しかった。韓国のことはあまり知ることがなく興味を持っていなかったが、韓国には他にもどんな絵があるのかもっと知りたいと思った。今日はありがとうございました。

・今日、絵を描いてみてみんな上手に世界に一つだけの作品が出来ていて面白かったです。一人一人感じていることは違って、みんなとしゃべったりして鑑賞の時にいろいろなことを教えてもらっていい勉強になりました。

自由に描く、ということは簡単そうで、難しかったです。マネして描くのは簡単でも作品の構図を考えたり、何を描くか考えることも難しいことでした。画家はどのように構図を決めているのか気になりました。

・不思議な絵を描く人もいるなと思いました。かなり、どんな事をしているか、感じることは、幅広いと思いました。楽しかったです。

・韓国の方との交流はとても楽しく、異国の画家さんのエピソードや面白い画法がありました。今後もこのような機会があったらぜひ参加したいと思いました。

・韓国の美術館へ行ってみたいと思った。

・韓国に行ってみたいと思いました。釜山の美術館に行ってみ物を見てみたいと思いました。

・韓国の美術館に行ってみたいと思いました。

・美術館でしか味わえない体験ができてとても良かったです。またこういう機会があれば体験したいなと思いました。

まず、技法を通して他の学校、先生方と触れ合うという、あまりしたことがない私はとても楽しいものになったなと思いました。また、今回作った作品は記念として家に飾ろうかなと思います。

・韓国の美術館に行ってみて韓国の人が描いた絵と日本の人が描いた絵を見比べたい。

・今日は長崎で韓国を近いかと感じた。韓国と北朝鮮に平和を守ってほしいです。歴史と文化とか学びました。

■遠隔授業事後アンケート自由記述欄

対象:長崎県壱岐市立勝本中学校

設問:遠隔授業のどんな点が面白かったですか?自由に書いてください。

- ・日本人と韓国人で考え方が違うと思いました。
- ・質問の交換。絵のクイズをするとき
- ・質問タイム
- ・韓国人との交流が楽しかった
- ・めがねの人が面白かったです
- ・質問
- ・質問タイムがおもしろかった
- ・絵の捉え方が違うのが面白かった
- ・質問するところ
- ・美術は韓国と思うことが一緒だったので面白かったです
- ・意思疎通が出来ていた。釜山人の意見を聞いてこんな意見があるんだと思ったとこ。絵の見方が変わった
- ・たくさん意見交換ができたこと
- ・釜山のはやっているものや自慢のものを聞いたりしてとても楽しかった
- ・韓国の人たちと楽しく話を聞いたり質問したりして楽しかったです
- ・韓国の人たちとコミュニケーションをしたこと
- ・質問タイム・絵についての意見交換
- ・質問しあったり、一緒に会話したりするのが楽しかったです。たくさんの方の見方や考えがあって楽しかったです
- ・釜山の人と話すことが出来た・いろんな感想を聞いた
- ・反応が面白かった
- ・考えが違う人がいること
- ・質問タイムが楽しかった・韓国語での会話
- ・韓国の人と質問したり会話したりしてつながったことが楽しかった
- ・質問しあったこと・TikTokを見ていたのですごくびっくりした。
- ・質問・絵の想像
- ・質問したところ
- ・映像を通して韓国の人たちと交流できてとても楽しかったです。
- ・初めて外国の人と授業をして違う国でも面白い人がたくさんいることがわかった
- ・遠いところから
- ・釜山の人と通訳を通じて話したこと。釜山の人と一緒に意見を交換したこと。
- ・絵で何かが消えるのを探すのが楽しかった。
- ・韓国の中学生と中継で授業が出来たこと
- ・韓国の人とつながって話したりするのが楽しかった。韓国の人の意見も聞けたので良かったです。
- ・会話、質問タイム
- ・こんな体験をしたのは初めてで緊張したけどとても楽しかったです。韓国の子は面白い人が多いと思いました
- ・反応や行動がおもしろかった
- ・質問などでいろんなことをしれたこと。考えを共有できたこと。
- ・美術作品についてだけでなく、お互いの学校や釜山の紹介もあったので、韓国の文化、学校生活について知れたこと、男子が手を振ったりするとあっちの生徒もやったりしてコミュニケーションがとれていたこと
- ・質問しあうときが楽しかった

- ・韓国の人とコミュニケーションをとることができた
- ・韓国の人と初めてつながることができて発想の違いを知れて楽しかった
- ・韓国の中学生がとてもフレンドリーに手を振っていたりしていた
- ・韓国の中学生と自由に話した。
- ・ぼくの知らない絵をみれたし、みんなちがうはっそうがあるんだなと知れて良かったです。
- ・お互いが意見を発表しあうところ。
- ・質問などで外国の人とつながることができたこと。一つの絵でもいろんな考えがあった。
- ・韓国の人といっしょに学べたこと。

設問:今日の授業に対して感じたことを自由に書いてください。

- ・今まで絵を見る時は、何も考えずに見て終りだったけれど、今日は一つの作品からいろいろな想像を働かせて見れたので、楽しかったです。韓国の人は意見がどんどん言えていたので、想像力が豊かだなと思いました。
- ・一つの絵で日本と韓国の意見が全く違うということに気付きました。
- ・韓国の中学校のみなさんと遠隔での授業ができて楽しかったです。自分では想像でkないような意見もあったので、勉強になりました。
- ・同じ絵を見ていても、韓国の人達と視点が違うなと感じました。私達が気付かなかったところまで気付いていて、驚きました。今までは絵を見て終りだったけれど、この授業を受けて、もっと想像して見ようと思いました。
- ・韓国の人と意見が全然違うくて、色々な発想があつて面白かった。
- ・韓国の人意見を知れて、私達と考え方が少し違ったりしていたのでとても面白かったです。ピカソの絵は直線が多いなと思いました。
- ・生で韓国の生徒さんと授業ができて、楽しかったです。授業の中でいろんな意見が出て、創造力が膨らみました。韓国の学習なども知れて良かったです。
- ・同じ意見を持つ人や、違った意見も聞けて、とても想像が膨らんで楽しかったです。
- ・韓国の学校と絵について発表しあえて良かったです。美術を通して韓国と交流したり、絵に対する見方を話し合えてよかったですと思います。
- ・今回初めて遠隔授業をして、とてもいい経験になりました。韓国語はわからなくても、なんか通じ合っている気がして楽しかったです。日本人と韓国人の発想が違っているところが面白かったです。
- ・初めて遠隔授業で釜山の人と話してとても楽しかったし、一つの絵から色々な考えが出て面白かった。
- ・韓国の人と喋れてよかった。
- ・絵一枚をいろいろな方向から見て、想像を膨らませて面白い考え方なんかがあつて楽しかったし、韓国は楽しい人たちがいるんだなあとと思いました。
- ・実際に会わなくても、韓国と映像を通して交流できる今の技術はすごいと思ったし、とても楽しかったです。一つの絵でも、みんなで考えたらたくさんの想像ができて、じっくり見ればたくさんのが伝わってくるんだなあとと思いました。
- ・今回遠隔授業をしてみて外国のことをとても知ることができてよかったです。
- ・絵一枚でたくさんの想像をふくらませることができんだなあとと思いました。釜山の皆さんと僕たちの意見は、少し違ったことが多かったので、考えは国境をこえていくのだなあとと思いました。
- ・初めての遠隔授業だったけど、楽しく受けることができた。そして美術のことを一つの絵からたくさんの想像ができ楽しく学ぶことができた。
- ・人生で初めての遠隔授業でとてもよい経験となりました。遠い場所ではあったけど韓国の中学生と一緒に会話したり、考えを共有しあえたりしてとても楽しかったです。
- ・自分は相手が質問したときに答えられてよかったです。韓国語はこんなに今まで聞いたことがなかったので、このような体験ができてよかったです。

- ・遠隔授業は初めてだったけど、さまざまな意見が聞けてとても楽しかった。
- ・実際に韓国語を聞いたことがなくて今日、初めて生で聞いて英語より速くて韓国語は難しいなと思いました。
- ・最初は、韓国とリアルタイムで通信紙で話すなんて実感がわかなかったけど、とても韓国の方たちが優しくて楽しい時間になりました。絵を見て感じ方を話すところでは言語は違っても感じ方は同じだなと思いました。人によって見え方はさまざまでおもしろかった。
- ・1枚の絵から見る人によってそれぞれいろんな感じ方があって、面白いと思った。韓国の人とてもフレンドリーで面白かった。
- ・韓国の人と初めてつながることができてとても楽しかった。とても貴重な体験ができた。韓国人と日本人の発想の違いがわかり、韓国の人々の考えはとてもよかったです。
- ・日本と韓国をつないで授業をするのはとてもすごいことだなと思いました。そして1つの美術作品をここまでゆっくり時間をかけて鑑賞することはないし意見交換をすることもないのでとても楽しい時間でした。
- ・韓国のおみやげや特徴、文化などが知れて良かった。そしていろんな考えの人と交流することが出来て自分の意見が深まった。一つの絵で、いろんな考えの人と交流することが出来ていい時間になった
- ・一つの絵を見て考えもしないようなことを考えている人がいたのでびっくりしました。今日見た絵はとても不思議な絵だったけどいろんな感想や意見があって絵を違った角度で見ることが出来ました。
- ・韓国の人には想像力が豊かでした。韓国の人としゃべることができた。
- ・釜山の人たちとの授業をしてみて自分では思いつかないことがたくさんできてとてもたのしかったです。一つの絵でたくさんの方が想像できるし、友達と話してみても物語もあってすごいと思いました。
- ・質問をしあったり、絵の間違いをさがしたり、すごく楽しかったです。釜山の人と話す機会はめったにないのでとてもいい思い出になりました。
- ・釜山はどういうとこなのかも知ることが出来て良かった。そして、絵についてもいろんなことを考えることが出来ました。絵一つでいろんな想像が出来るんだなと思いました。あいさつもできました。貴重な体験が出来ました。楽しかったです。
- ・一つの美術作品でもたくさんの方があってずっと見ていられるようで楽しかったです。韓国の方と交流することで、自分たちにはない部分や文化を知ることが出来ました。
- ・韓国の人と交流してこんにちはのあいさつなどを韓国語で話せてよかったと思いました。韓国の人にはあいさつをこんにちはと上手に言えていたのですごいなあとと思いました。美術の作品はとてもすごいかんじでおもしろい作品だなあとと思いました。
- ・今日釜山の人たちと授業をしてみて、釜山の人たちは想像力が豊かで自分では思いつかないことばかりですごいなと思いました。この交流で言葉はわからなくても思いを通じ合えたのでとても楽しかったです。
- ・壱岐と釜山の中学生で一つの作品を鑑賞してお互いいろいろな感想があってとてもおもしろかったです。
- ・釜山の人には僕たちとは違う感性でこんな考え方もあるんだなあとと思いました。一つの絵でもいろいろな見方があるので、面白いなと思いました。とても楽しかったです。
- ・初めて韓国の人と話せてとてもいい体験が出来ました。インタビューをしていていろんなことが分かったので良かったです。楽しかったです。
- ・韓国の人としゃべることが出来たし、いろんな絵を見られたのでよかった。韓国の人には想像力が豊かでした。
- ・絵の捉え方が独特でびっくりした。
- ・自分とは違う意見が聞けて良かった。その中でも同じ意見もあったので面白かったです
- ・韓国の人と授業が出来て本当にうれしかった。
- ・釜山というところとやってみてとても楽しかったです。ピカソの絵でピンの真ん中に目が見えたけど発表できなくて残念です
- ・今日の遠隔授業で韓国の人との交流が出来てとても楽しかったです。韓国の人々の絵の気づきが独特的でびっくりし

た。

- ・釜山は韓国の中でも壱岐に近いところにあるけど、交流とかは初めてなのでとても楽しかったです。韓国人と話すことは初めてでした。
- ・違う国の人でも絵を見て感じることは同じだと思いました。その中でもやっぱり感じる場所が違ったのがおもしろかったです。一つの絵を国際的に鑑賞するのはとても新鮮で楽しかったです。
- ・絵でストーリーをつくる時、日本人の僕たちと韓国の人たちでは感じ方が違うなあと感じました。
- ・まちがいさがしや絵にかいてあることを詳しく考えることでよく見る、やその絵をじっくりと見る事が出来ました。「絵」を見るだけで音を考えた方がいい見方ができました。

■遠隔授業事後アンケート自由記述欄

対象:釜山市立チェソン中学校

設問:遠隔授業のどんな点が面白かったですか?自由に書いてください。

- ・日本にいる学生たちと対話する交流が楽しかったです。
- ・とても自由に自分の考えを大勢の人々に話せてよかった。また、沢山の友達と意見の共有ができてよかった。
- ・あんまり楽しくなかった。
- ・日本の友達に会えてよかった。
- ・日本の学生たちとの映像通話
- ・フェルナンド7世の消える所探しを通して、絵をよく観て知ることができてよかった。
- ・日本の友達に会ったこと。
- ・質問する時間が楽しかった。
- ・友達と一緒に絵を観て、自分の考えを話したのが楽しかった。
- ・遠隔を通して日本の友達と会話したこと。
- ・日本の子たちとお話したこと。
- ・日本の子たちと話してよかった。
- ・お話ししながら知っていくこと。
- ・お互い会話のやり取りをする時。
- ・日本の美術館についても知ったし、いろいろなことが分かって。
- ・会話をする時。
- ・会話したこと。
- ・日本の友達とお話しできたこと。
- ・私たちの発表に日本の学生たちが耳を傾けてくれたり、拍手してくれている所がよかった。
- ・会話を交わしたのが楽しかった。
- ・日本人と会話できるというところが楽しかった。
- ・日本の兄、お姉さんたちと授業したこと。
- ・質問する時間が楽しかった。
- ・直接ではないけど、日本人の顔が見られたこと。
- ・会話。
- ・会話したこと。
- ・質問タイム。
- ・質問タイム
- ・消える絵探し。
- ・お互い、知りたいことについて聞いて楽しかった。

- ・お互いについて質問する時がいちばん楽しかった。
- ・映像通話
- ・新しい作品で、思ったことについて話したこと。
- ・日本の学生たちと話し合ったこと。
- ・日本の子たちと映像授業をしたのがいちばん楽しかった。
- ・日本の子たちに会えて。
- ・質問の時間。
- ・日本人と話したこと。

設問:今日の授業に対して感じたことを自由に書いてください。

- ・今日の授業は他の所では簡単にできない活動なので特別な経験になりました。
- ・美術、絵を観察して、思ったことと感じ取ったものを話したら、絵が新しく見えてきた。今度、またこんな授業をしてほしい。
- ・外国の人と話して、不思議な感じがした。
- ・もう少し上手くできたらと思う。今日はいいきっかけだったと思う。
- ・映像で日本の人々と話すのが不思議な感じだった。
- ・日本の子たちと映像で質問のやりとりをしたのが不思議な感じだった。
- ・まず、違う角度から絵を観たり、観察できて、とてもよかったし、これからも博物館に行つて、もっと詳しくいろんな方向から見ると楽しいと思う。また、日本の友達ともっと親しくなつたと思う。
- ・新鮮だった。
- ・まあまあよかった。
- ・外国の友達と映像授業ができて楽しかったし、機会があれば、もう一回授業したい。
- ・日本の友達と一緒に話しながらお互いのことを分かち合せてよかった。今度、また今日のような機会があればいいと思う。
- ・日本の子たちと話ができて不思議な感じがしたし、楽しかった。
- ・もっと話ができたらよかった。楽しかった。
- ・映像授業は初めてだったけど、楽しかった。
- ・違う国の学生たちと話したことが不思議で楽しかった。お互い似たような考えで面白かった。
- ・とても楽しかった。
- ・申し訳ないけど、退屈でした。
- ・退屈だった。もっといろんな活動ができたらよかった。だけど、楽しかった。
- ・日本の友達と映像で話するのが不思議な感じだった。
- ・日本に一度、行ってみたいと思っていたが、もっと行ってみたいくなつた。
- ・会話をしたら、友好的に感じられてきた。
- ・普段は見ることのできない絵の細かい部分まで見る事ができてよかった。
- ・今度、また機会があればもう一度やりたい。
- ・日本に対する興味がたくさんできた。
- ・日本の子たちも韓国と結構似ていると思った。
- ・楽しかったです。
- ・無し。
- ・楽しかった。
- ・日本の美術文化を感じ取ることができたと思う。楽しい！

- ・日本の学生たちと会話をしたのが不思議な感じだった。
- ・日本では何が有名なのかよく分かるようになったし、ピカソの作品を予測してみた。本当に面白くて楽しかった。特に残念なことはなかった。今度また機会があれば映像通話をやってみたい。
- ・本当に楽しかったし、韓国を代表して日本の学生たちと交流できて誇りに思う。
- ・日本の友達について気になっていたことを聞いて解消したし、一つの絵についていろんな意見を交わしたのが楽しかった。
- ・美術作品についてももう一度考え直す大切な機会だった。
- ・不思議で楽しかった。いろんな作品で感想を話し合っよかった。日本の友達の感想が面白かった。時間が短くて残念だった。
- ・日本にいる学生たちと一緒に美術作品について話をしたり、日本のいい所などが分かって、直接見たことはないけれど、日本は美しいと感じた。
- ・日本の子たちと会話をするのが新鮮で楽しかった。いい思い出になった。
- ・日本の学生たちと話をしたが、言葉が違っても聞き取れるということが分かった。
- ・日本人がやっていることなど、日本について知ることができた。